

# 2024年度

(2024年4月1日~2025年3月31日)

# 運輸安全方針

安全・安心の先に、  
だれかの笑顔がある。

## 1 わが社の事故防止のための安全方針

- ①全従業員が一丸となって安全性の向上を図る。
- ②法令を遵守した行動により社会的使命を果たす。
- ③安全への取組をマンネリ化させず日々心を込めて取組む。

## 2 社内への周知方法

- ①安全方針を従業員に配布するとともに社内及び営業所に掲示する。

## 3 安全方針に基づく目標

- ①交通事故の撲滅

項目	2023年度結果	2024年度目標
重大人身事故	0	0
人身有責事故	0	0
物損有責事故	1	0

## 4 目標達成のための計画

- ①各営業所は、毎月1回「安全衛生会議」を開催し、安全衛生行動計画に基づき、乗務員に安全教育を実施する。
- ②本社と営業所は毎月1回のデジタコデータ会議を開催し、法令違反のチェックと事故防止対策に努める。
- ③各営業所はヒヤリハットBOXの設置と情報活用を積極的に行い、案件毎に本社と協議し迅速に事故防止対策を行う。
- ④各営業所は毎月1回のトルクレンチによる点検実施に加え、全車両の左後輪タイヤにホイールナットマーカを取り付け、タイヤに関わる事故防止を更に強化する。
- ⑤各営業所は、「安全衛生会議」において、交通安全に関する危険予知ミーティングを適宜議題に加え交通事故防止を更に強化する。

## 5 わが社の安全に関する情報交換方法

- ①毎月1回の安全衛生会議で安全に関する意見交換会を乗務員と開催する。
- ②帰庫点呼時に乗務員と情報交換を行う。
- ③ヒヤリハット情報はその対応結果までしっかり情報共有する。

## 6 わが社の安全に関する反省事項

- ①走行中での危険予知不足による事故が発生したこと。
- ②デリバリーホースの接続が甘く、飛散事故が発生したこと。

## 7 反省事項に対する改善方法

- ①講じた対策を風化させないよう、過去5年の事故振り返りカレンダーを作成し、類似事故の撲滅を図る。
- ②新型ドライブレコーダー5箇所設置型を有効活用し、動画利用での安全会議を行うことで、よりリアルに鮮明に状況を伝え、対策を講じる。
- ③デリバリーホース補助爪の運用を強化する。
- ④発着地のアルバムを作成し、不明確な作業を無くす。

## 8 わが社の安全に関する目標達成状況

2023年度目標	結果	目標達成状況
重大人身事故	0	達成
人身有責事故	0	達成
物損有責事故	1	未達成

## 9 わが社の事故に関する情報

2023年度の自動車事故報告規則、第2条に規定する事故

0件



和泉運輸株式会社

代表取締役社長 神村 純